



2023年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クスリのアオキホールディングス
 コード番号 3549 URL <http://www.kusuri-aoki-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木宏憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当兼経理室長 (氏名) 八幡亮一 TEL 076-274-6115
 四半期報告書提出予定日 2022年10月4日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績（2022年5月21日～2022年8月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	91,766	13.8	4,476	35.2	6,069	72.9	4,144	76.5
2022年5月期第1四半期	80,630	—	3,311	—	3,509	—	2,347	—

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 4,190百万円 (82.1%) 2022年5月期第1四半期 2,301百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	131.44	—
2022年5月期第1四半期	74.46	—

(注) 1. 2022年5月期第1四半期の各数値については、会計方針の変更を適用した後の数値となっております。このため対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第1四半期	243,062	90,710	37.3
2022年5月期	234,201	86,930	37.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 90,614百万円 2022年5月期 86,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2023年5月期	—	—	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	14.50	—	14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年5月21日～2023年5月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	177,615	10.2	7,581	11.4	7,942	11.3	5,267	12.2	167.03
通期	360,000	9.6	15,200	8.0	16,000	1.4	10,800	9.8	342.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期1Q	31,532,560株	2022年5月期	31,532,560株
② 期末自己株式数	2023年5月期1Q	462株	2022年5月期	462株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期1Q	31,532,098株	2022年5月期1Q	31,532,313株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年5月21日～2022年8月20日）におけるわが国経済は、ワクチン接種の進行に伴い経済社会活動の正常化に向けた動きが進み景気の持ち直しが期待されるなか、中国のゼロコロナ政策に基づく都市封鎖やロシアのウクライナ侵攻等を背景にした原材料や燃料価格の高騰、日米金利差の拡大に連動する形での大幅な円安・ドル高の進行等、依然として先行きが不透明な状況は継続すると想定されます。

ドラッグストア業界におきましては、コロナ禍の衛生意識の高まりや外出機会の増加を背景に衛生関連商品の需要は増加する一方で、化粧品や一般用医薬品の需要は回復基調にあるものの、コロナ禍以前の水準には届いていない状況です。このような需要動向の変化に加え、異業種を含む競合他社との熾烈な出店競争や価格競争、さらには業界上位企業による経営統合やM&Aによる規模拡大等、経営環境は一層厳しさを増しております。

当社グループでは、このような環境のもと各種感染拡大の予防対策を徹底し、お客様が安心して来店できる店舗づくりに注力いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の感染不安を感じる地域の皆様に向けて、PCR・抗原検査キットの無料検査事業に参加いたしました。引き続き、地域のかかりつけ薬局として調剤併設率の向上を図るとともに、既存店の改装を中心に生鮮食品等の品揃え強化を行うことで「フード&ドラッグ」を実現し、お客様により一層、利便性を提供できるよう努めてまいります。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを北信越に11店舗、東北に9店舗、関東に1店舗、東海に7店舗、関西に4店舗の合計32店舗の出店を行い、さらなるドミナント化を推進いたしました。

また、ドラッグストア併設調剤薬局を北信越に3薬局、東北に2薬局、関東に6薬局、東海に5薬局、関西に4薬局の合計20薬局を新規に開設いたしました。一方、ドラッグストア6店舗を閉店いたしました。

これにより当第1四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア845店舗（うち調剤薬局併設480店舗）、調剤専門薬局6店舗、スーパーマーケット1店舗の合計852店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高917億66百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益44億76百万円（同35.2%増）、経常利益60億69百万円（同72.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益41億44百万円（同76.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,430億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ88億61百万円増加いたしました。主な増加要因は新規出店等による建物及び構築物の増加62億54百万円、現金及び預金の増加26億99百万円、商品の増加14億87百万円、売掛金の増加12億35百万円等によるものであり、主な減少要因は建設仮勘定の減少36億30百万円等によるものです。

負債合計は、1,523億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億81百万円増加いたしました。主な増加要因は支払手形及び買掛金の増加75億56百万円等であり、主な減少要因は長期借入金の減少24億82百万円等によるものです。

純資産合計は907億10百万円となり、前連結会計年度に比べ37億80百万円増加いたしました。また、自己資本比率は37.3%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、現時点におきましては、2022年7月4日に公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,348	29,048
売掛金	6,979	8,215
商品	39,673	41,161
未収入金	12,852	12,323
その他	694	1,070
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	86,547	91,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	101,717	107,972
土地	4,966	4,881
リース資産(純額)	7,619	7,987
建設仮勘定	8,143	4,513
その他(純額)	3,958	4,896
有形固定資産合計	126,404	130,250
無形固定資産		
のれん	2,006	1,946
その他	2,068	2,070
無形固定資産合計	4,075	4,017
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,745	7,760
繰延税金資産	3,239	2,992
その他	6,264	6,299
貸倒引当金	△75	△75
投資その他の資産合計	17,173	16,976
固定資産合計	147,653	151,244
資産合計	234,201	243,062

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,701	49,258
1年内返済予定の長期借入金	9,742	9,696
未払法人税等	3,440	1,905
賞与引当金	1,108	964
ポイント引当金	51	33
契約負債	2,348	2,452
未払金	9,778	9,874
その他	4,610	5,503
流動負債合計	72,781	79,689
固定負債		
長期借入金	59,907	57,425
リース債務	6,447	6,772
役員退職慰労引当金	235	240
退職給付に係る負債	3	3
資産除去債務	7,705	8,035
その他	189	184
固定負債合計	74,489	72,662
負債合計	147,270	152,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,167	1,167
資本剰余金	2,175	2,175
利益剰余金	83,675	87,410
自己株式	△3	△3
株主資本合計	87,015	90,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△180	△135
その他の包括利益累計額合計	△180	△135
新株予約権	96	96
純資産合計	86,930	90,710
負債純資産合計	234,201	243,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2021年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年8月20日)
売上高	80,630	91,766
売上原価	58,907	65,832
売上総利益	21,723	25,934
販売費及び一般管理費	18,411	21,458
営業利益	3,311	4,476
営業外収益		
受取利息	15	11
受取配当金	33	34
受取手数料	54	60
貸貸収入	39	49
補助金収入	0	1,436
固定資産受贈益	22	10
貸倒引当金戻入額	9	—
その他	83	92
営業外収益合計	259	1,696
営業外費用		
支払利息	35	57
貸貸収入原価	15	15
その他	10	30
営業外費用合計	60	102
経常利益	3,509	6,069
特別利益		
投資有価証券売却益	12	—
固定資産売却益	1	0
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	14	0
特別損失		
固定資産売却損	19	—
固定資産除却損	15	—
減損損失	—	117
特別損失合計	34	117
税金等調整前四半期純利益	3,489	5,952
法人税、住民税及び事業税	1,097	1,581
法人税等調整額	44	226
法人税等合計	1,142	1,807
四半期純利益	2,347	4,144
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,347	4,144

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2021年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年8月20日)
四半期純利益	2,347	4,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	45
その他の包括利益合計	△46	45
四半期包括利益	2,301	4,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,301	4,190
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社による事業譲受)

当社の連結子会社である株式会社クスリのアオキは、2022年10月3日開催の取締役会にて、株式会社三崎ストアの食品スーパー事業を譲り受けることを決議し、同日付で同社と事業譲渡契約を締結しました。

1. 事業譲受の概要

(1) 譲受先企業の名称及び事業の内容

譲受先企業の名称 株式会社三崎ストア

譲受事業の内容 食品スーパー事業

(2) 事業譲受を行う主な理由

食品スーパーの持つ新鮮な食材の品揃えとドラッグストアの持つヘルス&ビューティーや日用品の品揃え、また処方箋を取り扱う調剤薬局を組み合わせることで、地域のお客様にとってより一層ご愛顧いただける店舗を作ることができると判断したためです。

(3) 事業譲受日

2022年12月1日

(4) 事業譲受の法的形式

現金を対価とする事業譲受

2. 譲受事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

事業譲渡契約の定めにより、守秘義務があることから非開示とさせていただきます。

3. 譲受事業の資産・負債の項目及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

3. 補足情報

当社グループは、医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売事業という単一セグメントであるため、仕入実績は商品部門別に、販売実績は商品部門別及び地域別に記載しております。

① 仕入実績

当第1四半期連結累計期間の仕入実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年8月20日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)
ヘルス	6,525	9.6
ビューティ	8,500	12.5
ライフ	14,297	21.1
フード	32,882	48.4
調剤	5,706	8.4
合計	67,912	100.0

(注) 1. 上記の金額は、物流益等(店舗への直送受託収入から直送委託費用を控除した物流益及び発注にかかるデータ収入)を控除していません。

2. ヘルス、ビューティ、ライフ、フード、調剤の主な取扱品目は以下のとおりであります。

- ヘルス … 医薬品、ビタミンサプリメントやダイエットサプリメント等の健康食品、救急用品や健康管理用品等の医療用品
- ビューティ … カウンセリング化粧品、洗顔料等のフェイスクケア商品、ボディソープ等のボディケア商品、シャンプー等のヘアケア商品、歯磨等のオーラルケア商品
- ライフ … オムツ等のベビー関連商品、介護用品、生理用品、洗剤、家庭用品、ペットフード、靴下や肌着等の衣料用品、家電用品
- フード … 加工食品、日配食品、生鮮食品、調味料、菓子、飲料、酒等の食品
- 調剤 … 薬局にて処方する医療用医薬品

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年8月20日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)
ヘルス	9,718	10.6
ビューティ	13,319	14.5
ライフ	18,908	20.6
フード	39,517	43.1
調剤	10,301	11.2
合計	91,766	100.0

③ 地域別販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

区分	店舗数 (店)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年8月20日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)
北信越	342	43,902	47.8
東北	56	5,487	6.0
関東	237	22,425	24.4
東海	154	13,802	15.0
関西	63	6,147	6.8
合計	852	91,766	100.0

(注) 店舗数は当第1四半期連結会計期間末現在のものです。